

コラム1						
頁	段	No.	行	誤	正	備考
2	下	写真13		現在の獅子留め蓋	現在の 本堂 の獅子留め蓋	
7	下		8	大軒	大棟	★
6-7				塗装	「いぶし」か*1	☆
第四章 浄楽寺略史 正誤表						
頁	段	行	行	誤	正	備考
21	上	史料17	3	本佛寺號願之通相成	木佛寺號願之通被成	★
21	上	史料17	5	所得候也	被存候也	★
21	上	史料18	10	本佛尊像	木佛尊像	★
第六章 仏像と仏画について 正誤表						
頁	段	行	行	誤	正	備考
35	下	前から	2	(史料18)	(史料18、 本書21頁)	
38	上	前から	9	専称寺	専念寺	
42	上	前から	20	御考	後考	
42	下	前から	4	極め印	極印	
43	下	前から	10	前節(8)	前節⑧	
43	下	後から	3	前節(7)	前節⑦	
第九章 浄楽寺所蔵史料について 正誤表						
頁	段	行	行	誤	正	備考
68	19	名称		寺号 本 仏御免状入	寺号 木 仏御免状入	☆
68	22	名称		本 仏寺号御	木 仏寺号御	☆

★2024.10.08、11.04ご指摘ありました。ご教授ありがとうございました。

☆ご指摘を受け、こちらで確認し修正します。

お気づきの点がございましたら、
ご意見＆お問い合わせフォームからお知らせ願います。

<https://www.kazabito.com/contact/>

解説

「いぶし」か*1	瓦の「いぶし」の語源は燻す【いぶす】からきており、土を瓦の形状に成形したものを焼き締めた後に燻化【くんか】とよばれる燻す作業が加わることから「いぶし瓦」とよばれています。銀粉をまとったかのような仕上げで、昔ながらの日本瓦の仕上げのひとつです。地域と時代によっては釉薬瓦という釉薬を施して焼いた釉薬瓦や無釉瓦もあります。浄楽寺の古瓦に施されている着色方法の中には、スプレー塗装かとも見える脆い皮膜が覆っているものがあり、塗装がいぶしか判然としません。
----------	--

名の由来となる。ブタンガス等を含むガス燃焼により、瓦表面に